

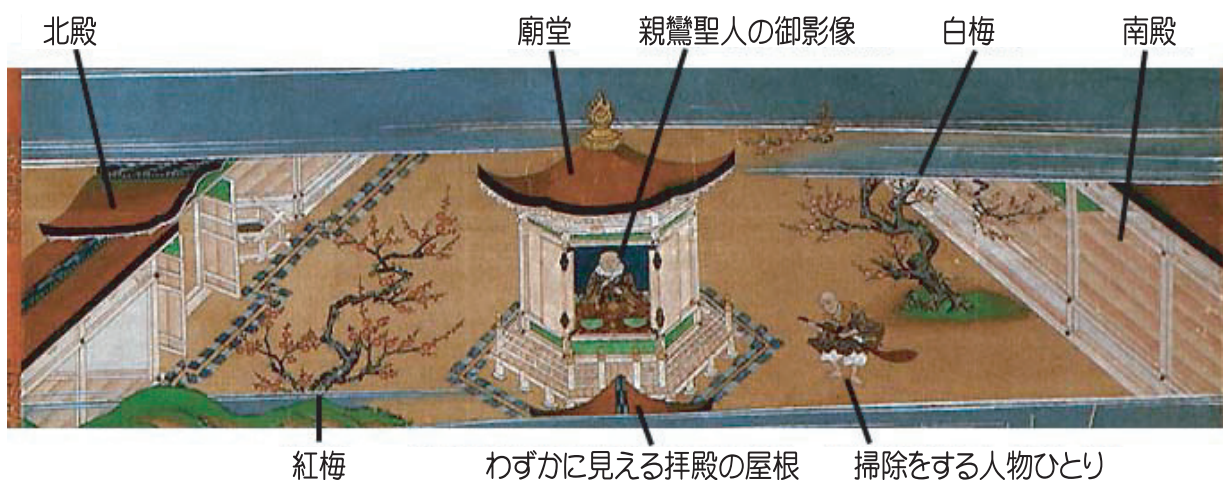
### 御伝鈔(その13)

親鸞聖人のひ孫である覚如上人が、親鸞没後33年に親鸞聖人の御遺徳を讃えた『報恩講私記』を著わされました。続いてその翌年、親鸞聖人の伝記絵『親鸞伝絵』を著わされ、詞書(ことばがき)の部分だけを『御伝鈔』(上巻・八段、下巻・七段)といいます。

### 第四軸・第六図「廟堂創造」

文永9年(1272)冬の頃、東山の西の麓、鳥辺野の北なる大谷の墳墓をあらためて、更に北なる吉水の北の辺に遺骨を移し、廟堂を建て御影像を安置した。

この時には、聖人によって相伝せられた真宗念仏の教えはいよいよ興じ、遺訓は聖人在世の昔よりも益々盛んであった。聖人より受けた教えを重んじ、進んで報謝のまことを致そうと、多くの人々が毎年廟堂に参詣するようになった。



ご参加くださる方。今年は、その方の息子さんの奥様が来て下さいました。どうしたのかな?、体調が悪いのかな?、いろいろ心配して、直接お聞きしましたが、お元気とのこと。安心しました。また来年、善教寺護持会総会で、お会いしましょうね。



竹原の仁賀地区から、いつも寂しいものです。昨年までご出席くださっていた方が、今年は来られなくなり...、お浄土から総会の様子、見て下さっているかな?と思うのですが、寂しいものです。

### 住職レター

暖冬だと思つて安心していましたが、ここ数日の厳しい冷え込み。しかも、春がきたかと思わせるような陽気の日もあれば、またその翌日には極寒へ。十分ご自愛ください。さて、今年も二月十一日(建国記念の日)に、善教寺護持会総会を開催しました。今年の参加者は、各地区世話人代表四十四名。初めてご出席くださる方。久しぶりにお会いする方。懐かしいものに出会えますと、とても嬉しいものです。しかしその逆に、